

みなさん、新年あけましておめでとうございます！  
昨年、年間100件ほどのライブがコロナの影響で  
ゼロになった SHINGO★西成さん。厳しい状況が続  
く中、一緒に頑張ろうとメッセージをいただきました。

## 今年こそ西成が立ち上がる！！



### 今の俺をつくってくれた

釜ヶ崎

俺は、三角公園近くの長屋で生まれ育った。動物園前の商店街は、歩けないほど人でにぎわっていた。小さな個人商店がいっぱいあって、人の手や息が商品に加わっていて、温かさを感じていた。釜ヶ崎は、温かく多様性もあって、ほんまにおもしろい街やと思う。小さい頃の経験は、世の中の基準と違って、度を越えて大胆で革新的だったと大人になってから気づいた。そういう感動したことを表現したくて、ラップという表現方法を使うことにした。



## あせ 焦らさず ぐらぐら... あきびり 諦めず

小さい頃の夢は、漫才師やった。みんなが楽しそうに笑っていて、人を楽しませているところが魅力的だった。自分も漫才師になってみんなを楽しませたいと思った。今はラップを仕事にしているけど、人を楽しませたいという気持ちは当時から変わっていないし、その時の気持ちが「世の中をわくわくドキドキさせよう」という自分の生きるテーマにつながっている。



みんなが楽しんでくれているのを見て、さらに自分もワクワクして、もっととおもしろいものを作っていきたい。今の俺をつくってくれたのは釜ヶ崎で、やっぱり俺にとっては一番が多い街。色んなことのでライブをしてきたけど、三角公園でライブする時が一番緊張するし、一番興奮する。



### SHINGO★西成さん プロフィール

- 1972年、西成区で生まれる。
- 1996年、ライブ活動を始める。
- 2005年、シングル「ゲッターの歌です(こんなんでしょう?)」を自主発売。
- 2017年、5th アルバム「ここから...いまから」を発売。
- 2019年、6th アルバム「白目」をリリース。

ヒップホップアーティストとしての活動のかたわら、炊き出しなどのボランティアにも積極的に参加している。  
釜ヶ崎夏祭りや越冬闘争でおなじみ。



俺は完ペキではないし、ラップしかなけれど「これしかなくても大丈夫」という背中を地域や子どもたちにみせていきたい。  
日本は、一度失敗すると復帰や復活がしにくいイメージがあるけど、それを払拭するのが、西成やと思っている。

「ここは、過去を捨てても生きていける街、どんな人でも受け入れてくれるような懐のある街で、そんな街で生まれ育ったことを誇りに思っている。」



「コロナ流行前後では、世の中の価値観や生き方が変わっているが、自分の曲は時代が変わっても、ぶれない思いを込めている。」

『ここから...いまから』という曲の中に『焦らさず ぐらぐら 諦めず』という言葉があって、みんなに伝えたい言葉やから、ぜひ曲を聞いてほしい。

「コロナの影響や地域の高齢化で、表面上西成が沈んでいるように見えるが、西成の持つ温かさや人間力、底力は変わっていない。こんな時代の今こそ、元気の種をまいて芽吹かす時が来た。  
自分の幸せは周りの幸せからという考え方で、世の中は良い方向に変わっていく。敵を作らず、共生(=共に生きる)していく。今こそ西成が立ち上がる」をキャッチフレーズに、自分なりにできることをみんなにもしていったほしい。



毎年クリスマスに、こどもの里にクリスマスケーキを配るSHINGO★西成さん

(写真:こどもの里からの提供)

-548-  
カマヤん ありむら 著

# 谷川俊太郎さんから 労働者のみなさんへ



「コロナ禍の今を、詩という形でみなさんへのメッセージとして投稿いただきました。新年の「あいさし」として、ご紹介させていただきます。」

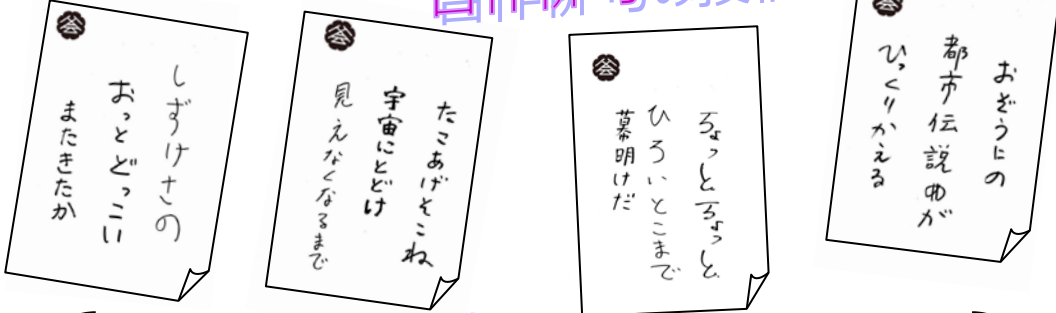
## たわむれうた

### 谷川俊太郎

♪のんきにほんき  
へいきでげんき♪  
とうちゃんひなたで  
まけおしみ  
♪たんきはそんき  
ほしがきにんき♪  
かあちゃんこたつで  
いねむりだ  
♪みすぎよすぎに  
あおいきといき♪  
ひいじいばんねん  
ひまごのしんねん



## お正月をテーマにした 合作俳句の投稿

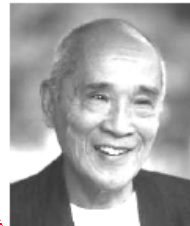


## 釜ヶ崎芸術大学より あけましておめでとうございます

2021年もほがらかに、おすこやかに、おすこしく下さいね。  
釜ヶ崎芸術大学の「合作俳句」は、5・7・5をそれぞれ別の人が作り、予想もしない俳句になって、びっくりします。  
釜ヶ崎芸術大学では、合作俳句や合唱などさまざまな講座を年間100講座ほど開催しています。  
くわしくは、釜ヶ崎芸術大学（ココルーム）にお問合せください。  
こえとことばとこころのへや（ココルーム）  
住所:大阪府西成区太子2-3-3 電話:06-6636-1612

## 谷川俊太郎さんのよこがお

1931年 東京府東京市杉並区に生まれる。  
1948年 詩作ならびに作品の発表を始める。  
1950年 父の知人であった三好達治さんの紹介で、『文学界』に「ネロ他五編」が掲載される。  
1952年 処女詩集『二十億光年の孤独』を刊行する。若手文化人らとともに「若い日本の会」を結成、60年新安保条約調印に反対する。  
その後、作詞・映画製作・絵本・脚本などを手がけ、1967年には翻訳も始める。



これまでに出版された詩集は優に80冊を超え、全国には彼が作詞した校歌を持つ学校が120もある。  
ほかに、漫画「スノーピー」の翻訳や、「鉄腕アトム」の主題歌も彼の作詞である。

## 無料結核健診



誰でも健診が受けられます

- 1月12日(火) 13:30~15:30 西成労働福祉センター(特掃登録)
- 1月19日(火) 10:30~12:00 阪堺電車沿い(萩之茶屋地域東部)
- 1月26日(火) 10:00~11:30 萩之茶屋南公園(三角公園)南側
- 2月2日(火) 13:30~15:30 西成労働福祉センター(特掃登録)
- 2月9日(火) 13:30~15:30 西成労働福祉センター(特掃登録)

健診場所は毎回異なります。  
くわしくはセンター窓口まで。

## 新年あけましておめでとうございます

### おめでとーいしんねんあけましておめでとう

昨年は、新型コロナウイルスによる感染拡大により、医療従事者をはじめとする多くの皆さんは、大変な状況の中で過ごされた一年でした。  
流行語大賞は「三密」でしたが、流行語のほとんどがコロナの影響を反映した言葉で、私たちは生活スタイルを大きく変えざるを得なくなりました。感染はまだ終息せず、皆さんには新年もマスクの着用、手洗い、三密の回避といった基本的な感染対策を徹底していただきたいと思えます。

昨年十二月には、大阪社会医療センター附属病院が新しくオープンしました。感染症対策の設備も整えられ、予約制を導入して診察の待ち時間を短縮するなど、より地域の皆さんが利用しやすい病院となりました。

さて、地域の求人状況は、コロナの影響により三割減で推移しておりますが、財団では昨秋「N I S H I N A R I 就職応援フェア」を新たに開催し、コロナ禍で職を失くされた方など多くの方に参加いただくことができました。これからも、初めての方も気軽に就労の相談に来ていただけるよう取り組んでまいります。

本年も就労が不安定な労働者の方や地域の皆さんの役に立てるよう、職業紹介や就労相談に取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

新しい年が皆さんにとりまして素晴らしい年であり、心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和三年(二〇二一年)一月



代表理事 内屋幸治

## 釜ヶ崎日誌

12月2日

大阪社会医療センターが移転オープンする。

12月19日~21日

新今宮フェスティバルが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる。

12月21日

西成区役所で第57回労働施設委員会が開催される。

## たずね人

土岐 栄さん (71)

2021年版

労働者べんりちよう

センター窓口にて  
配布中です。



## 環境整備紹介日

業務内容:ゴミ収集 分別作業 および  
地域内の不法投棄パトロール 駐輪対策 など  
雇用期間:朝作業班 4日間  
昼作業班 6日間  
夜間巡回班 3日間

紹介時間:10時20分

48回目	1月8日(金)
49回目	1月14日(木)
50回目	1月21日(木)
51回目	1月27日(水)
52回目	2月2日(火)
53回目	※2月8日(月)
54回目	2月12日(金)

※印のある紹介日には  
朝作業班の募集は行ないません